

想定される主催者別分類分け

手話に接点が無い市民向け事業については、市が実施。

手話に接点の深いろう者や手話通訳者等に向けては、ろう協等の団体が実施した方が良いとの一定の想定のもと分類。

市主催 【対市民向け】	共催	ろうあ協会主催 【対ろう者向け】
○手話施策推進研究会 ○広報 ・ブルーライトアップ ・手話の日の報道 ・手話動画の活用 ○講座【対市民】 ○普及啓発事業【対市民】 ・サマーフォーラム関連イベント ▶ご意見を伺いたい内容：実施したい啓発事業について（R9年度以降にも繋がるイベントにするには？） ・条例リーフレット作成 →R7ろうあ協会が作成済み ・スポーツチームとのコラボ →R7実施済み）		○イベント【対ろう者】 ・条例制定一周年イベント ・手話ガイド ・「手話の日」関連イベント ・動物園、図書館とのコラボ ○体験教室 ・市民以外に対する講座 ・マルシェ等での出店
○その他意見：手話カフェ、プラモニュメント、手話映画祭、SNS開設等		

静岡市手話施策推進研究会 アンケート
～「第2回（8月予定）」に向けて～

Q1 第2回研究会（8月予定）で話題にしたいこと・話題にすべきこと

例：〇〇という立場の人（活動をしている人）の意見を聴きたい
△△について意見を出し合いたい

- 調査検討(他市の手話言語条例の成功事例と課題)
- 来年度は何をやるのか、予算はどのくらいになるのか
本来は制定記念イベントをやりたかったところだが、準備期間や予算もないため、来年度は制定1周年記念イベントをやりたい。以降は5、10周年と区切りの良いタイミングで記念イベントを企画しては
 - 何にどのくらい予算をかけるのか(かけられるのか)、何に使えるのか？(備品、謝礼、人件費、会議費 etc)
 - 来年度だけでなく、今後も行政とのすり合わせ(予算も含めて)を研究会で行うということで良いか
 - 今年度の予算、あとどのくらい使えるか？
 - 令和8年度に必要な予算見込みについて
- 来年8月は静岡市でサマーフォーラムが開かれ全国から1,000人は集まるため、特に何らかの施策は立てたい(居酒屋やホテルへの手話講師派遣や、学習動画の作成)
- 今月制定見込みの手話施策推進法、県手話言語条例、市手話言語条例の使い分けについて意見を出し合いたい
- 静岡市として、来年度何か取り組もうとしていることがあれば教えてほしい
- 静岡市市営施設でのコラボイベントで手話ガイドが可能かどうかを確認したい。
【ガイドがある施設例】
・静岡市歴史博物館 ・静岡市立登呂博物館 ・駿府城 ・三保の松原
- 今後の施策推進のロードマップについて
- 静岡市の地域名の手話、静岡市の歴史(徳川家康、今川義元など)に関する手話について
- 「手話言語の国際デー」ブルーライト場所について(清水区)
- 9月23日 手話のイベントについて 手話カフェ
- 静岡気分(9月号 難波市長写真 手話表現)
- 遠隔手話通訳 静岡気分、静岡公式ホームページに掲載について
- 7月からスタートで、実際に使用するためには「119」で訓練したらどうでしょうか
- ろう協の会員(2人)による葵区役所内窓口での体験
- 新聞社による取材
- ブルーライトアップ、またそのイベントについて。
- おまちのイベントに手話を盛り込ませたいが可能か。また、けやきプラザやスクランブル交差点のビジョンに手話を映すことは可能か。
- 来年度以降の予算について確認したい。
- 学校教育により手話に興味を持つ子どもが増えている。実践の場を作って欲しい。
- ろう教育において、「子どもの手話の力を育む」NPO こめっこ(特定非営利活動法人手話言語獲得習得支援研究機構)の活動は参考になる。(手話言語獲得支援者の養成、派遣事

業)

-
-

Q2 令和8年度以降に取り組みたいこと・取り組むべきこと

[イベント]

- 手話言語の国際デー ブルーライトアップイベント
 - ドリームプラザの観覧車をブルーライトアップ、点灯式、同日に手話教室や手話イベントの開催
 - 日本平動物園でのライトアップイベント、ブルースレスレット配布
- JR 静岡駅などで啓発ビラ配り
- 日本平動物園とのコラボ企画
 - 手話スタンプラリー、国際デーコラボ企画(ろうガイド、手話通訳付きガイドなど)
- 静岡市美術館などのコラボ企画
 - 美術館や登呂遺跡などの手話ガイド、手話表現パネル設置など
 - 手話通訳付きツアー
- 観光地の手話ガイド (金沢市や蒲郡市などで実施)
 - 駿府城公園、久能山東照宮での手話ガイド、ガイド養成
- 記念イベント
 - 手話のつどいの開催、手話に関する著名人やタレント(よしもと手話ブ!)を呼ぶ、有名人相手に手話指導
 - 手話パフォーマンスグループの招致(手話ダンサー、日本ろう者劇団、男組)
- 手話カフェ、手話ワークショップ
 - ろう者と一緒に何かを体験(手話教室ではない)
- 手話映画祭
 - 手話に関する映画を上映(アイラブユー、ゆずり葉、咲む)
 - 「ぼくがいきてる、ふたつの世界」上映と手話イベント
- 静岡市のスポーツチーム(くふうハヤテ、ベルテックス静岡、静岡ジェードなど)とのコラボ企画
 - ハーフタイムでチーム名やスポーツの手話指導、手話教室のブース設置
 - スポーツチームの手話表現を公認してもらい、情報発信
- 静岡市内の様々なイベントへの手話教室の出店
 - 依頼を待つのではなく、スルガマルシェなどのイベントにこちらから働きかける
- 「はじめての手話講座」1回限りの手話講座(土日、平日夜に2~3時間程度)
 - 生涯学習センターを中心に毎年開催。特に安倍口や富厚里、興津など
- 手話奉仕員養成講座修了者を手話あいさつ推進委員に登録し、イベントなどの協力要員にする → 別途、定期的な研修を行い継続を目指す
- 静岡市内の飲食店(主に居酒屋など)に対して接客時の手話教室
 - 合理的配慮に対する施策を兼ねる意味合いもあるため、店へ訪問しての手話指導が効率良いのでは
- 来年8月のサマーフォーラムに向け、ホテルのフロントや飲食店を対象にした手話教室
- サマーフォーラムの静岡開催に向けて、飲食店・ホテル・駅・ショッピングモールなどで接客する人に手話の普及活動をする。おもてなし講座

-
- 方法
 - ・対面で手話講座を開催
 - ・パンフレットを作成して（例えば、ホテル接客編で、手話を紹介し、二次元コードを読みこむと、手話動画を見られるなど）SNS を使い広める。商工会議所や議員へお願いして、ホテル業界、デパート業界など広く普及活動できたらいい。
 - ・手話サークルや静通研静岡班を巻き込んだ活動にしていきたい。
- 手話言語条例制定1周年記念イベント⇒男組を招いての講演
- 旗や垂れ幕、のぼり、はっぴなどずっと使えるアイテムの作成
- 手話が言語であることを、様々な団体に伝えていきたい。
- 議員へ手話授業（実技、座学）
- 静岡市出前講座へ手話の講座を入れる
- 病院（医師会）、介護施設へ手話教室
- 手話関連のリーフレット作成
- 手話は言語のポスターを作成、関係各所に配布（県の手話言語条例の時も県内各所に貼った）
- 手話に触れる機会を増やす
- ブルーライトアップの拡大、
- 手話で対応できる店舗の拡大・従業員への手話講座、市統一の手話バッチ
- 体験 各種マルシェ等で手話教室、サインスポット、
- 静岡市の博物館、美術館など常設展示の各コーナーに設置する翻訳システムに手話を加え、手話ガイドも取り組んでほしい
- 静岡市海洋・地球総合ミュージアム、南アルプスユネスコパーク等
- 手話ガイド資格を取得するためには、勉強会や研修会を設けて聞こえない方も参加できるように環境作りとする
- 手話言語のプラモニュメント（静岡市プラモデル化計画）を静岡市のどこかに設置すれば、世界にアピールできるのではないか
- エスパルスドリームプラザ ブルーライトアップ（観覧船）
- 手話イベント
- 手話言語条例制定1周年記念の企画
- 市内観光地の手話ガイド（定年退職のろう者の活躍の場もできる）
- 公共施設（病院、消防署、警察署）や介護施設など、職員対応の手話講習の働きかけ。
- 市中の店舗や公共施設に「聞こえません」等のカード（ボード）を置いて、ろう者がそれを示したら手話（無理ならえんかく+）で会話できるように進めて欲しい。
- 町ぐるみで「手話あいさつ」を取り入れていく。
- 広報しずおか（紙媒体）や SNS 等ネットワークに手話動画を載せて広めたい。
手話ができる店員がいる市内の店に、「手話」マークのポスターかシールを貼る。
- サイレント劇場、手話マルシェ、手話 café、手話フェスの開催
-
-
-
-

- 手話ショートドラマを作成し、静岡市の Youtube で配信
- 日本平動物園の動物案内とともに手話の看板を設置
- 静岡市内の図書館に手話コーナーの設置
- 静岡市 Youtube やインスタなどで手話チャンネルの開設、定期的な動画発信
- 静岡市の企業(はごろもフーズ、SSK 等)に手話イラストのついた商品の企画
- 紙媒体作成・利用
- チラシ、ポスター、リーフレット、広報誌、横断幕、HP、
- 動画作成・利用
- 公共空間、スタジアム、HP、
- 広報しずおか（紙媒体）や SNS 等ネットワークに手話動画を載せて広めたい。
手話ができる店員がいる市内の店に、「手話」マークのポスターかシールを貼る。

[行政]

- 市職員、市議員向けに手話講座の義務付け
- 市職員(正職員、会計年度)の活用(出前講座の講師)
- 職員手話サークルと協働しての企画(学習会、交流会、講演会など)
- 遠隔手話通訳サービス(えんかく+)の公費負担
- 手話奉仕員養成講座の改善
 - 手話奉仕員養成講座 夜の部は毎年、定員オーバーで半分くらい落としているため、社会的資源の損失。夜の部を 2 会場に拡大する、土日開催、養成講座の前に、短期間の手話講習会を開き、それを経て手話奉仕員養成講座に申し込む(絞り込み)
- 全国ろうあ者大会、サマーフォーラムなどへの市職員の派遣（市職員の条例に関する学びの場を作る）
- 手話通訳者の研修会(手話通訳のスキル向上)
- 手話通訳者からのフィードバックとその施策(手話通訳者の確保と育成)技術研修など

Q3 その他感想

- 障害福祉企画課も取り組みに積極的なのが嬉しい。CM 素材の作成といった、行政ならではの強み(スポーツ振興課や観光課といった横の部署のつながり)を生かした企画の発案を期待したい
- 私たちは当事者団体であるため、市民との感覚のズレ(言わなくても分かること)が生じている。市民に近い行政からの感想や発想も期待している
- 手話普及の機運が高まっている今だからこそ、様々な意見を出して、施策を展開していきたい。
- 希望はたくさんあるので予算について期待したい。静岡市と我々当事者団体との連携をしっかりと取り、着実に進めていければ良いと思う。
- 手話言語に関する話し合う場ができて、社会共生の実現が一步步前進していることを感じています。
- 遠隔手話通訳の説明会でわかりやすかった。
-
-